

Memory Media Utility Software Ver. 4.7.0 をリリースします。

本ドキュメントでは Memory Media Utility のインストール方法と使用上の注意事項について説明します。
SBAC-T40 などの SxS Reader/Writer および PSZ-SG48/96 などの Portable Storage 本体同梱の取扱説明書と合わせてご覧ください。

【V4.7.0 で対応した内容】

- ・ SBAC-US30/SBAC-UT100 Ver. 2.16 更新機能
(SxS Pro X メモリー接続時の安定性を改善しました)
- ・ アンインストールする際にメディア管理用 DB(DataBase)を残すようにしました。(Mac 版)
(Win 版と同様アンインストール後に再びインストールした時でも登録済のメディア管理情報を引き継げるようにしました)

【動作環境】

この Memory Media Utility Ver. 4.7.0 は下記の環境で動作確認済です。

対応 OS

Windows 8.1 64bit

Windows 10 64bit

Windows 11 64bit

macOS Catalina 10.15.7

macOS Big Sur 11.6.7 ※

macOS Monterey 12.4 ※

※Intel Mac 製品に加え、Apple シリコン(M1 チップ)搭載 Mac 製品に対応しています。

Memory

4 GB 以上

HDD の空き容量

500 MB 以上

ご注意： 上記の動作実績は、すべてのコンピューターに適用されるものではありません。

【Memory Media Utility のインストール方法】

Windows の場合

MemoryMediaUtility_4_7_0_win.zip を解凍します。

MemoryMediaUtility_4_7_0_win.exe をダブルクリックして、インストーラーの指示に従ってください。

以前のバージョンで登録したメディア管理データベースは引き継がれますので、「プログラムと機能」で旧バージョンを選択し削除してから、インストールしてください。

設定情報を確実に反映するため、インストール後、OS の再起動をお願いします。

Mac の場合

MemoryMediaUtility_4_7_0_mac.zip を解凍します。

MemoryMediaUtility_4_7_0_mac.dmg をダブルクリックして、インストーラーの指示に従ってください。

Mac 版は、これまでに登録したメディア管理情報（データベース）を引き継ぐ場合、バージョン 4.7.0 のインストーラーで、上書きインストールしてください。

ご注意:バージョン 4.6.0 以前のアンインストーラーで削除すると、メディア管理情報は削除されますので、ご注意ください。

(バージョン 4.7.0 のアンインストーラーでは、引き継げるように登録情報を残すようにしました)

また、インストールする際は、後述する、システムソフトウェアの許可を行なって下さい。

設定情報を確実に反映するため、インストール後、OS の再起動をお願いします。

- ・ Apple Silicon 搭載 M1 Mac にインストールする際は、セキュリティポリシーの設定変更が必要です。

Apple シリコンを搭載した Mac に「Memory Media Utility」をインストールするときは、あらかじめ下記の手順でセキュリティポリシーの設定を「低セキュリティ」に変更する必要があります。

1. Apple シリコンを搭載した Mac で、アップルメニュー > [システム終了]と選択してコンピューターの電源を切ります。
2. [起動オプションを読み込み中]と表示されるまで電源ボタンを押したままにします。
3. [オプション]をクリックしてから、[続ける]をクリックします。



4. macOS 復旧でユーザ選択が求められる場合は、[次へ]をクリックし、必要に応じて、管理者アカウントのパスワードを入力します。
5. [復旧]アプリケーションで、[ユーティリティ] > [起動セキュリティユーティリティ]と選択します。
6. 使用する起動ディスクを選択します。ディスクがFileVaultで暗号化されている場合は[ロックを解除]をクリックし、パスワードを入力してから[ロックを解除]をクリックします。
7. [セキュリティポリシー]をクリックします。
8. [低セキュリティ]を選択し、[確認済みの開発元から提供されたカーネル機能拡張のユーザ管理を許可]チェックボックスを選択して、レガシーのカーネル機能拡張を使用するソフトウェアのインストールを許可します。その際、必要に応じて管理者アカウントとパスワードを入力します。
9. Mac を再起動して変更内容を適用します。

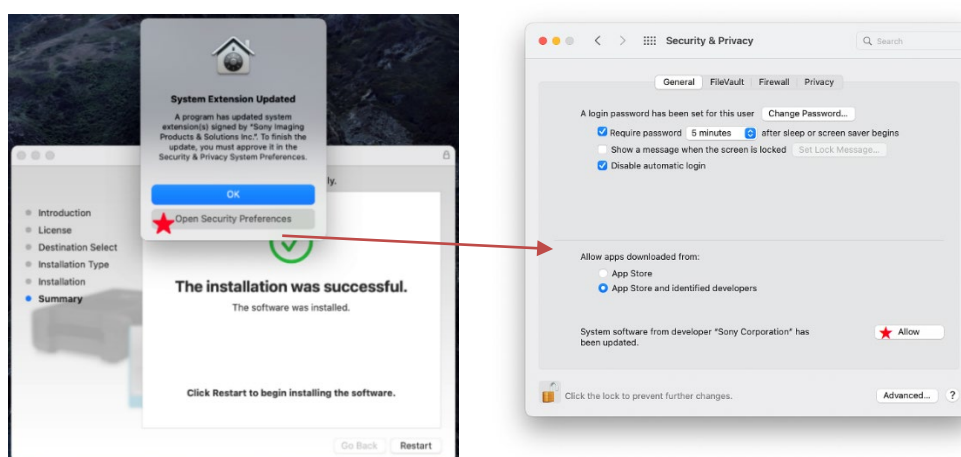
・ macOS 10.15 もしくは 11.6、12.4 にインストールする際は、システムソフトウェアの許可が必要です。

下記のように「システム環境設定」の「セキュリティとプライバシー」画面を開き、読み込み許可が要求されている場合、必ず「システムソフトウェアの読み込み」を”許可”してください。

上書きインストールの場合など、前回のインストール時にすでに許可されている場合は不要です。但し、新しく追加された物がある場合は、それらもチェックするようにしてください。

1. Open “Security & Privacy” from “System Preference”
2. Press the “Allow” button on right side of “System Software was blocked from loading...”
3. Check out the System software of “Sony *****” and press “OK” .

インストール中に以下のようなダイアログが表示された場合は “Open Security Preferences” を選択すれば、「セキュリティとプライバシー」画面が開きます。以下は macOS Monterey の場合の例です。



ご注意：

インストール時に許可しなかった場合、OS 再起動後には元に戻ってしまいます。

その場合は、再度、インストーラーを実行して、システムソフトウェアの許可を設定してください。

【言語対応について】

本ユーティリティは、システムの言語環境にあわせて、言語 (EN/JP) の切り替えを自動的に行ないます。

【制限事項】

メディアの取り出し操作について

「SxS リーダーライター表示」画面に表示される各ドライブの Eject ボタンで Eject できます。

但し、SBAC-T40 は、Windows の「ハードウェアの安全な取り外し」から、取り出しを行なう必要があります。

Mac との USB3.0 接続について

- ・ Mac 標準搭載の USB3.0 ポートに SxS リーダーライターを接続してご使用ください。
- ・ 他社製の USB3.0 カードは SxS リーダーライターを正しく認識しなかったり、データ転送が正しく行われなかったりする場合があります。特に、クリップファイルの転送を行なった際は、必ず、Catalyst Browse などのアプリケーションで、ファイル転送が確実に行われているか、確認するようにしてください。

【注意事項】

1. 操作上の注意

OS がメディアをマウントする前に本ソフトウェアで操作を行なうと、コンピューターが不安定になる場合があります。

- ・ 必ずメディアアイコンがデスクトップに表示されてから、本ソフトウェアでの操作を行なってください。
- ・ OS 起動前にメディアを接続してしまうと、OS 標準のファイルシステムドライバでマウントしてしまうため、アクセスが遅くなります。このため、OS が起動してから、メディアをマウントするようにしてください。

SxS メモリーカードのフォーマット、および、SxS リーダーライターのファームウェアアップデートについて

- ・ Finder や Explorer などメディアを開いたり、アクセスしている場合は実行できません。
- ・ ファームウェアアップデート後は、SxS リーダーライターを取り外した後、5 秒以上間隔を空けてから再接続して下さい。
- ・ 操作中に、万一ケーブルを抜いてしまった場合、メディアが壊れるか、コンピューターが不安定になる可能性があります。もしそうなった場合は、少し待ってから SxS メモリーを再挿入するか、コンピューターを再起動して下さい。メディアやリーダーライターが壊れていなければ、正常状態に復帰します。

2. マシン環境の設定

- ・ ドライブの正常動作の妨げになる可能性がありますので、電力モードはハイパフォーマンスをお勧めします。

以下のようなストレージ管理ソフトについても、一時的に無効にするか、その管理対象から除外することで改善場合があります。

例) 常駐型のアンチウイルスソフト、バックアップツール、自己暗号化ドライブ管理サービス、RAID 管理ソフトウェアなど

3. SxS メモリーカード、SONY Portable Storage/Professional RAID の初期化について

OS 標準のフォーマット機能で初期化しないで下さい。 ソニー製カムコーダやプレーヤー・レコーダでマウントできない可能性がありますので、必ず、本ソフトウェア でフォーマットして下さい。

4. Memory Media Utility をご使用になる場合、もしくは、UDF フォーマットされたメモリーカードを使う場合

Memory Media Utility を使う場合や UDF フォーマットされた SxS メモリーカードに関する機能を使用する場合には、SxS UDF Driver をインストールする必要があります。 弊社のサイトよりダウンロードし、インストールしてください。

<https://www.sonycreativesoftware.com/sxsudfdriver>

5. SxS リーダーライター” SBAC-T40”、もしくは、ExpressCard スロット で SxS Memory Card を使うには

SBAC-T40 や PC の ExpressCard スロットに接続して SxS Memory Card を使用する場合は、SxS Device Driver をインストールする必要があります。弊社のサイトよりダウンロードし、インストールしてください。

<https://www.sonycreativesoftware.com/sxsdriver>

6. SxS PROX メモリーカードを使うには

古い SxS リーダーライター用ファームウェアの場合、接続が安定しない場合があります。

その際は、本ソフトウェアに同梱されている、最新のファームウェアに更新することで改善できます。
